

# 笛吹市探訪

## 『ふるさと』の祭り 「笛吹市に伝わる太々神楽」

今回から数回に渡りふるさとの祭りを掲載していきます。第1回目は神社の祭典等で舞われる太々神楽を2つ紹介します。

笛吹市内には県無形文化財に指定されている太々神楽（注1）が2つあります。山梨岡神社（注2）太々神楽と美和神社（注3）太々神楽です。

山梨岡神社太々神楽は春日居町鎮目にある山梨岡神社神楽殿で毎年4月4・5日に舞われます。24種類の舞があり、『天の岩戸』の



『山梨岡神社代々神楽・四剣の舞』（山梨県立博物館で撮影）

故事を中心に古事記神話の世界を一日で現します。その中でも20番目の『四剣の舞』は4人で剣・鈴を持ち勇壮に舞う神楽で、『武田信玄出陣の神楽』とも呼ばれています。

山梨岡神社太々神楽は出雲流神楽（注4）の系統で昭和42年（1967）に山梨県の無形文化財に指定されました。

美和神社太々神楽は御坂町二之宮にある美和神社神楽殿で毎年4



『美和神社代々神楽・四弓の舞』（スコレーセンターで撮影）

月に舞われます。現在は20種類の舞が伝わり、山梨岡神社太々神楽と同じように古事記神話の世界を表現している『天の岩戸の舞』等があります。

また美和神社には『神楽二十五番次第』という江戸時代後期の神楽の演目を書いた記録が伝わっています。それらは伊勢流神楽（注5）の演目を含み、面をつけないで舞う演目が多い等、現在の内容とはだいぶ違っていきます。

さらに毎年2月8日に行われる『湯立の神事』（注6）も伊勢流神楽の流れをくんでいます。また美和神社太々神楽は、昭和56年（1981）に山梨県の無形文化財に指定されました。

2箇所の神社とも6月には神楽は奉納されませんが、山梨岡神社・美和神社の周辺には豊かな自然が残されています。梅雨の晴れ間に森林浴を兼ねて、ふるさとの神社を訪ねてみてはいかがでしょうか。

注1 太々神楽  
神社等で神様に奉納するために行われる歌舞。名前は伊勢神宮に代参して奉納する代神楽に

由来するという説があります。

注2 山梨岡神社  
祭神は大山祇命（山の神）等。甲斐国官社20社の一つであり、武田家・徳川家から深く信仰されました。本殿は重要文化財。

注3 美和神社  
祭神は大物主命（稲作の神）等。武田家・徳川家から深く信仰され、武田家ゆかりの甲冑等が残されています。

注4 出雲流神楽  
島根県松江市にある佐太神社が発祥地とされ、面をつけた舞いで古事記神話の世界を表現します。

注5 伊勢流神楽  
三重県伊勢市にある伊勢神宮で行われる『湯立の神事』を源流とする神楽。

注6 『湯立の神事』  
釜で湯を沸かし、周囲の人に湯を降りかけ、清める神事。